

# 胃がん検診（胃部エックス線検査）について

胃部エックス線検査はバリウムを使用し、エックス線撮影にて検査を行います。持病のある方は事前にかかりつけ医とご相談の上、検査を受けてください。また、当日の間診によっては検査を受診できない場合があります。以下の注意事項をよく読んでいただき、検査を受けてください。

★胃がん検診（胃部エックス線検査）を受けることができない人、医師の判断が必要な人が裏面に記載されています。ご自身が当てはまる場合は、検診を受ける前にお申し出ください。

## 1. 食事・嗜好品について

検査前日は暴飲暴食を避け、夜9時以降は検査終了まで食事（朝食を含む）や飲酒はしないでください。

- ・夜間、水は飲んでも差支えありません。また、起床後から検査2時間前までは200ml以内の水は摂取可能です。夏季に検診を受けられる方は熱中症に十分ご注意ください。
- ・水以外（お茶・スポーツドリンクなど）は避けてください。
- ・検査終了後まではガムやたばこも控えてください。

## 2. 検査当日の内服について

### 糖尿病の方

検査受診前は薬の内服やインスリン注射はしないでください。低血糖の恐れがあります。

### 心臓病・高血圧の方

朝食は摂りませんが、薬は検査開始3時間前までに、200ml以内の水で必ず内服してください。内服をしていない方は受診できない場合があります。

※その他の薬の服用等については、かかりつけ医にご相談ください。

## 3. 副作用について

- ・発泡剤内服後、胃が膨張することによる血管迷走神経反射でめまいが起こることがあります。
- ・バリウム検査後、稀にアレルギー症状（発疹、蕁麻疹、顔面の腫れ、喉のつまり、ショック症状）を起こすことがあります。
- ・バリウムの飲み込み（嚥下）が悪いと、バリウムが誤って気管支に入り、呼吸困難や肺炎を起こすおそれがあります。
- ・バリウムが便として排泄されずに放置すると、消化管が詰まったり（腸閉塞）、消化管に穴が開いたり（消化管穿孔）するおそれがあります。
- ・胃のエックス線検査は胃がんが早期に見つかる可能性（利益）とともに、医療被曝という不利益もあります。
- ・精密検査と判定されたら、精密検査を受ける必要がありますが、精密検査で腸穿孔、出血などが起こることがあります。

### 検査の注意点

- ・バリウムの排泄を促すために、指示された下剤の内服をしてください。当日は水分を多くとるようにしてください。
- ・検査後、下剤を内服することで2～6時間で効果が出ることが多いですが、次の日も排便がない時は医療機関にご相談ください。
- ・下剤を服用した後に授乳すると、乳児に下痢症状が出ることがあります。
- ・大腸憩室や憩室炎の既往がある方で検査後に腹痛が出現した場合、必ず医療機関を受診してください。
- ・胃・十二指腸・大腸・頭部・心臓の手術歴のある方、治療中の方、その他持病のある方はかかりつけ医に相談ください。
- ・検診当日に問診等で安全に検診が受けられないと判断された場合は、検診を中止することがあります。
- ・検診結果で「精密検査不要」の場合でも、症状がある場合は医療機関を受診してください。
- ・検診結果を含む検診情報は恵那市と受診した検診機関が保管します。がん検診の精度管理のため、精密検査の結果は市へ報告され、市が得た精密検査結果は、受診した検診機関へ共有されます。ご承知の上、受診してください。

＜胃がん検診(胃部エックス線検査)を受けられない人＞

- 消化管の閉塞・穿孔またはその疑いのある人
- 消化管出血(吐血・血便)や強い腹部症状(腹痛など)のある人
- 過去の検診でアレルギー症状(蕁麻疹、息苦しさ、発疹など)が出たことがある人
- 呼吸不全のある人(片側の肺切除術後、COPDなどで常時酸素吸入など)
- 腎不全にて現在透析中もしくは心不全で水分制限を受けている人
- 急性心不全や重篤な不整脈などの心疾患がある人
- 全身状態が悪く、検査に耐えられないと判断される人
- 妊娠中、または妊娠の可能性がある人

＜胃がん検診(胃部エックス線検査)の受診について医師の判断が必要な人＞

- 腸閉塞や腸捻転、大腸憩室炎として治療を受けたことがある人
- 食道・胃の外科的手術もしくは内視鏡治療を受けて1年以内の人
- 医療機関で定期的に胃内視鏡検査を受けている、もしくは受ける予定がある人
- 大腸・小腸の外科的手術を受けて1年以内の人  
(ただし、ポリペクトミーなどの内視鏡治療の場合は術後3か月以内)
- 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)で治療中である人
- 肝臓・膵臓・胆嚢・婦人科などの手術を受けて6か月以内の人
- 検査前72時間以内に排便が全くない人
- 過去の検診で検査が中止になるようなバリウム誤嚥を起こしたことがある人
- 寝返りや立つときに日常的に介助が必要な人
- 水頭症で脳室-腹腔シャント(V-Pシャント)が施行されている人
- ペースメーカーや植込み型除細動(ICD)を装着している人
- 撮影機器の体重制限を超えている人

《お問い合わせ先》恵那市役所 健幸推進課 健康増進係 ☎0573-26-6822